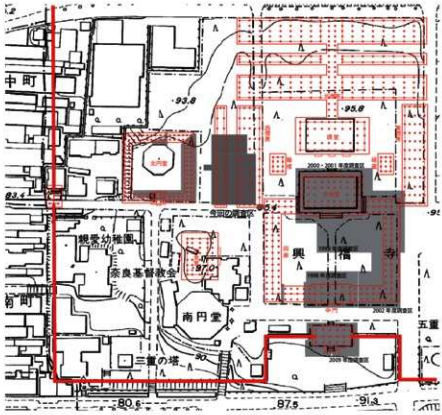

図1　興福寺伽藍配置図と今回の調査区
（『奈良六大寺大観　興福寺一』挿図1に加筆）

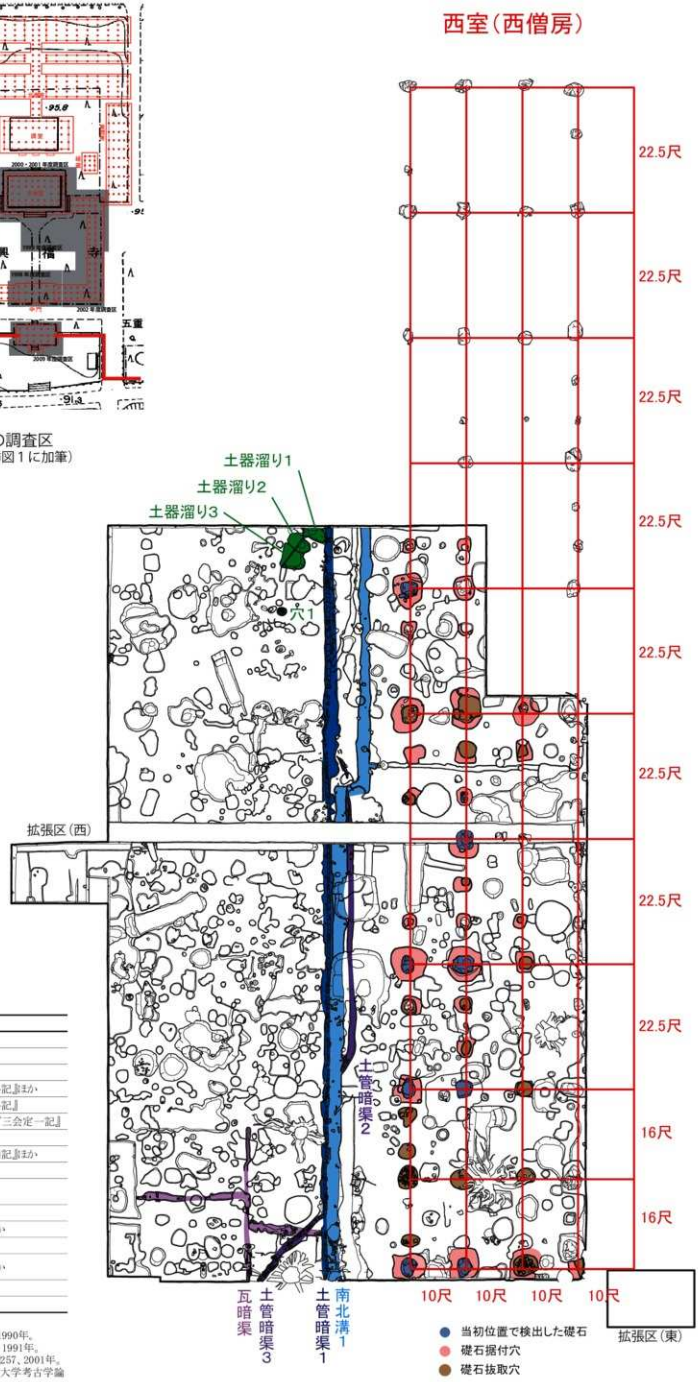

図2　遺構平面図（1：200）

表1　興福寺西室略年表

和暦	西暦	事項	典拠
	720年代	創建	
元慶2	878	焼失	『日本三代実録』
元慶5	881	再建	『日本三代実録』
永承1	1046	焼失	『造興福寺記』『扶桑略記』ほか
永承3	1048	再建	『造興福寺記』『扶桑略記』
康平3	1060	焼失	『康平記』『扶桑略記』『三会定一記』
治暦3	1067	再建	『興福寺流記』
永長1	1096	焼失	『中右記』『後二條師通記』ほか
嘉承2	1107	上棟	『中右記』
治承4	1180	焼失 （平重衡の南都焼討）	『玉葉』
	1200頃	再建	『春日大社文書』16
建治3	1277	焼失	『興福寺略年代記』ほか
弘安7	1284	再建	『三会定一記』
嘉暦2	1327	焼失 （南都僧都の争）	『大乗院日記目録』ほか
嘉吉2頃	1442頃	再建	『大乗院日記目録』
享保2	1717	焼失	『南都年代記』

参考文献
森中五百樹「奈良時代に於ける興福寺の造営と瓦」『南都仏教』64、1990年。
森中五百樹「平安時代に於ける興福寺の造営と瓦」『仏教芸術』194、1991年。
森中五百樹「鎌倉時代に於ける興福寺の造営と瓦（上）」『仏教芸術』257、2001年。
森中五百樹「南北朝・室町時代に於ける興福寺の造営と瓦」『立命館大学考古学論集3-2』2003年。
森中五百樹「安土桃山・江戸時代に於ける興福寺の造営と瓦」『帝塚山大学考古学研究所研究報告6』2005年。
太田博太郎『南都七大寺の歴史と年表』岩波書店、1979年。